

市長公約事業のロードマップ一覧表

No	公約事業名	担当所属
1.子育て支援		
1	3歳未満児の保育料無償化	こども未来課
2-1	全園児の給食費の無償化（保育所）	こども未来課
2-2	全園児の給食費の無償化（幼稚園）	学務課
3	保育園の人員配置、設備の見直し	こども未来課
4-1	安全に遊べる屋内遊戯施設の整備	こども未来課・都市建築住宅課
4-2	安全に遊べる公園の整備	都市整備課
2.将来世代への投資		
5	英語・コンピュータ教育事業	学務課・指導室
6	学校外活動費助成事業	学務課・指導室・生涯学習課
7	子ども議会の開催	広報情報推進課
3.高齢者の生活を守る		
8	交通手段の確保と利便性の向上	生活環境課
9	間口除雪の要件緩和	地域包括ケア推進課
10	医療福祉の環境・体制整備	地域包括ケア推進課・市立美唄病院事務局
4.安心・安全・健康に暮らせる環境づくり		
11	市立美唄病院の機能の再検討	市立美唄病院事務局
12	急性期医療機能における岩見沢・砂川との連携強化	市立美唄病院事務局、健康推進課
13-1	水道、道路などのインフラ劣化へ計画的な対応	上下水道課
13-2	水道、道路などのインフラ劣化へ計画的な対応	都市整備課
14	ブラックダイヤモンドとの連携による市民が運動する設備の整備	総務課、経済観光課、生涯学習課
5.市民の暮らしとともにある観光		
15	アルテピアッツァ美唄の活用のあり方の再構築	生涯学習課
16	美唄富良野線開通を見据えた観光拠点づくり	経済観光課
6.農業・産業振興		
17	資材・肥料・燃油高騰に直面している農業への給付	農政課
18	スマート農業の産官学連携による推進	農政課
19	企業誘致による雇用の創出	経済観光課
20	ふるさと納税の倍増	参事（農商工連携担当）
7.物価高騰対策		
21	市独自の直接給付（1万円）の実施	特別定額給付金推進室
22	生活用品等の寄附窓口の設置と再配布の事業化	生活環境課
8.市政の透明性の向上/職員が活躍する市役所へ		
23	政策形成や意思決定の過程の見える化	企画財政課
24	予算が大きく優先度が低い事業の見直し	企画財政課
25	年40回を目標とした市民と市長との対話会の実施	広報情報推進課
26	緊急事態で機動力を発揮する市役所・職員の体制構築	危機管理対策室

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	1	基本施策	1 子育て支援		公約事業	3 歳未満児の保育料無償化		担当部署	こども未来課		
内容		国による無償化対象外の3歳未満児についても保育料無償化を実現するもの。						関連事務事業	・市立保育所管理運営事業 ・へき地保育所管理運営事業 ・認定こども園管理運営事業 ・一時保育事業・病児保育事業 ・幼児保育無償化実施事業 ・許可外保育施設多子世帯保育料補助事業		
重要業績 成果指標 KPI		保育料の見直し						現状値 (指標設定時)	90,700円～4,500円		
年度			2023年度（R5）		2024年度（R6）		2025年度（R7）		2026年度（R8）		2027年度（R9）
目標値			—		—		—		無償化		無償化
実績値											
実施内容 [凡例] 計画 	①各施設の実態把握										
	②保育料（利用料）の確認 他市状況の調査										
	③保育料の見直し (条例・規則改正)										
	④保育料の無償化										
進捗管理											
進捗状況	取り組めていない		進捗状況に関する理由・補足等		保育園の人員配置や設備を見直し、3歳未満の児童の受入れ人数の拡充（公約番号3）が優先として取り組んでいる。						
これまでの取組											
現状の課題			全市的な取組とするためには、民間施設についてどのように実施するかが課題。								
今後の取組(予定)			令和6年度中に他市等の状況調査を行う予定。								

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	2-1	基本施策	1 子育て支援		公約事業	全園児の給食費の無償化		担当部署	こども未来課			
内容		全ての園児の給食費を無償化により、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るもの。						関連事務事業	・市立保育所管理運営事業 ・へき地保育所管理運営事業 ・認定こども園管理運営事業			
重要業績 成果指標 KPI		保育施設の園児の給食費の無償化						現状値 (指標設定時)	2,240円～5,600円 ピパの子保育園、認定こども園の0～2歳保育料 に含まれている			
年度			2023年度（R5）		2024年度（R6）		2025年度（R7）		2026年度（R8）		2027年度（R9）	
目標値			—		—		—		無償化		無償化	
実績値												
実施内容 [凡例] 計画 	①各施設の実態把握											
	②他自治体の状況把握 制度内容の協議検討											
	③条例等の見直し											
	④給食無償化の実施											
進捗管理												
進捗状況	取り組めていない		進捗状況に関する理由・補足等		保育園の人員配置や設備を見直し、3歳未満の児童の受入れ人数の拡充（公約番号3）が優先として取り組んでいる。							
これまでの取組												
現状の課題			全市的な取組とするためには、民間施設についてどのように実施するかが課題。									
今後の取組(予定)			令和6年度中に他市等の状況調査を行う予定。									

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	2-2	基本施策	1 子育て支援		公約事業	全園児の給食費の無償化		担当部署	学務課			
内容		全ての園児の給食費を無償化により、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るもの。						関連事務事業	私立幼稚園施設型給付費負担金給付事業 幼児教育無償化実施事業 私立幼稚園一時預かり事業			
重要業績 成果指標 KPI		私立幼稚園の園児の給食費の無償化						現状値 (指標設定時)	—			
年度			2023年度（R5）		2024年度（R6）		2025年度（R7）		2026年度（R8）		2027年度（R9）	
目標値			—		—		—		無償化		無償化	
実績値												
実施内容 〔凡例〕 計画 	①各施設の実態把握											
	②他自治体の状況把握 制度内容の協議検討											
	③規則等の制定											
	④給食無償化の実施											
進捗管理												
進捗状況	計画通りに進んでいる		進捗状況に関する理由・補足等									
これまでの取組			・ 他自治体の状況把握 ・ 市内幼稚園の給食実施状況の把握									
現状の課題			市内全園児を対象とするため、今後は保育所を所管する「こども未来課」とも連携を図り、本市独自の制度設計を構築する必要がある。									
今後の取組(予定)			引続き、他自治体の状況を調査し、令和８年度実施に向け、制度設計に着手する。									

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	3	基本施策	1 子育て支援		公約事業	保育園の人員配置、設備の見直し		担当部署	こども未来課			
内容		潜在的な待機児童の解消と安全で豊かな保育の実現に向け、保育園の人員配置、設備を見直します						関連事務事業	市立保育所管理運営事業 へき地保育所管理運営事業 認定こども園管理運営事業			
重要業績 成果指標 KPI		3歳未満の児童の受入れ人数の見直し						現状値 (指標設定時)	ピパの子保育園 50名 認定こども園ひまわり 6名			
年度			2023年度 (R5)		2024年度 (R6)		2025年度 (R7)		2026年度 (R8)		2027年度 (R9)	
目標値			—		—		—		ピパの子保育園 60名 認定こども園ひまわり10名		ピパの子保育園 60名 認定こども園ひまわり10名	
実績値												
実施内容 [凡例] 計画 	①各施設の受入れ体制の確認											
	②保育士の確保											
	③施設の改修・整備											
	④各施設の受入れ定員の見直し（条例・規則改正）											
進捗管理												
進捗状況	計画通りに進んでいる		進捗状況に関する理由・補足等		令和6年度及び令和7年度の採用試験を行うことは決定しているものの、全国的な保育士不足から予定人数を確保できるかは未定。							
これまでの取組			3歳未満児の受入体制の拡充に向けて、まずは保育士自身が生活への影響や不安がなく安心して働ける環境づくりをすることにより、精神的なゆとりを持って保育にあたることができ、安全・安心な保育環境を構築するため、令和6年度及び令和7年度に一定程度の保育士を採用するよう採用担当課と協議を行った。									
現状の課題			3歳未満の各年齢ごとの通園のニーズ把握及びそれに伴う施設の活用の変更や改修についてが課題。									
今後の取組(予定)			保育士確保に向けて、保育士養成機関へのPR及び保育士求人サイト等の活用。保育園における施設利用の見直しや施設改修に向けた保育園及び都市建築住宅課との協議。									

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	4-1	基本施策	1 子育て支援		公約事業	安全に遊べる公園や屋内遊戯施設の整備		担当部署	こども未来課、都市建築住宅課			
内容		一年を通じて子どもたちが安全に遊べる公園や屋内遊戯施設を整備します						関連事務事業	—			
重要業績 成果指標 KPI		屋内遊戯施設の整備						現状値 (指標設定時)	—			
年度			2023年度 (R5)		2024年度 (R6)		2025年度 (R7)		2026年度 (R8)		2027年度 (R9)	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値												
実施内容 [凡例] 計画 ↔	①公住建替市民検討委員会の開催及び基本構想の策定※1	↔										
	②アンケートの実施 ※2	↔										
	③基本計画・基本設計			↔基本計画		↔基本設計						
	④実施設計							↔				
進捗管理												
進捗状況	計画よりも遅れている		進捗状況に関する理由・補足等		「美唄市公営住宅建替え等基本構想」策定における庁内協議では、市営住宅を優先して整備することで合意している。							
これまでの取組			「美唄市公営住宅建替え等基本構想」において、住宅建設を予定する旧美唄工業高校跡地の活用の中で、屋内遊戯施設整備を検討。 令和5年9月に屋内遊戯施設に関するアンケート調査を実施。近隣市町の屋内遊戯施設を視察（令和5年8月に南幌町の「はれっぱ」、令和5年11月に岩見沢市の「あそびのひろば」）。									
現状の課題			整備場所、施設規模、整備する遊具・設備・機能、整備時期、財源などの協議									
今後の取組(予定)			「美唄市公営住宅建替え等基本計画」の策定において、引き続き、住宅建設を予定する旧美唄工業高校跡地の活用の中で、屋内遊戯施設整備を検討。									
備 考												

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	4-2	基本施策	1 子育て支援		公約事業	安全に遊べる公園や屋内遊戯施設の整備		担当部署	都市整備課				
内容		一年を通じて子どもたちが安全に遊べる公園や屋内遊戯施設を整備します						関連事務事業	公園施設等再整備事業				
重要業績 成果指標 KPI		—						現状値 (指標設定時)	—				
年度			2023年度（R5）		2024年度（R6）		2025年度（R7）		2026年度（R8）		2027年度（R9）		
目標値			—		—		—		—		—		
実績値													
実施内容 [凡例] 計画 	①既存遊具の点検・管理等												
	②新たな公園遊具の検討												
	③工事発注・完成												
進捗管理													
進捗状況	計画通りに進んでいる		進捗状況に関する理由・補足等										
これまでの取組			・ 遊具の設計単価を決定する業務を実施。										
現状の課題													
今後の取組(予定)			・ 工事入札を8月29日に行うよう起工する予定。										

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	5	基本施策	2 将来世代への投資		公約事業	英語・コンピュータ教育事業		担当部署	学務課・指導室			
内容		英語、コンピューターなど世界とつながる教育を小学校1年生から実施します						関連事務事業	・外国人講師小中学校派遣事業 ・小・中学校コンピュータ教育事業			
重要業績 成果指標 KPI		英語：標準学力検査（NRT）において、偏差値平均50以上 コンピューター：発達段階に応じた設定目標推進（参考：iPad 学年別活用スキル表）						現状値 （指標設定時）	小6 48.0 中1 46.2 中2 46.9			
年度			2023年度（R5）		2024年度（R6）		2025年度（R7）		2026年度（R8）		2027年度（R9）	
目標値			偏差値50/スキル達成		偏差値50/スキル達成		偏差値50/スキル達成		偏差値50/スキル達成		偏差値50/スキル達成	
実績値			偏差値46.4/スキル未達成									
実施内容 〔凡例〕 計画 ↔	①英語教育の充実 ・国際理解教育の推進（小1、小2） ・外国語活動及び外国語・英語教育の充実（小3～中3）											
	②コンピューター教育の充実 ・学年別活用スキル表に基づく取組推進											
	③世界へ視野を広げた教育活動の充実に向けた内容の検討											
	④世界へ視野を広げた教育活動の充実に向けた取り組みの実施											
進捗管理												
進捗状況	計画通りに進んでいる		進捗状況に関する理由・補足等									
これまでの取組			・ALTを活用した国際理解教育の実施および英語教育の充実。 ・学年別活用スキル表に基づいたコンピュートリテラシーの段階的な取得。 ・海外在住者とのビデオ等による交流。									
現状の課題			・海外在住者等との交流が単方向となっていることや時間的な課題（時間の確保、時差等）がある。									
今後の取組(予定)			・児童生徒の実態に基づく学年別活用スキル表の改善（更新）。 ・現在進めている教育活動を継続しながら、双方向での交流など教育活動の充実・改善を進めていく。									

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	6	基本施策	2 将来世代への投資		公約事業	学校外活動費助成事業		担当部署	学務課			
内容		家庭環境によらず、子どもたちが自らの可能性を広げる機会を提供するために、学校外活動（習い事、塾など）にかかる費用の一部助成を検討します						関連事務事業				
重要業績 成果指標 KPI		—						現状値 （指標設定時）		—		
年度			2023年度（R5）		2024年度（R6）		2025年度（R7）		2026年度（R8）		2027年度（R9）	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値												
実施内容 〔凡例〕 計画 	①他自治体の状況把握											
	②制度内容の検討及び市内事業者との協議											
	③規則等の制定											
	④助成事業の実施											
進捗管理												
進捗状況	計画通りに進んでいる		進捗状況に関する理由・補足等									
これまでの取組			・ 他市町村の実施状況調査 ・ 市内主要塾経営者等との協議（3事業者）									
現状の課題			・ 同様の事業を実施している他市町村が非常に少ない ・ 費用助成の対象となる学校外活動の範囲設定並びに助成支給対象学校種の設定 ・ 助成金支給方法の検討（先払いか後払いかなど）									
今後の取組(予定)			引続き先進都市の実施状況の調査を進め、また必要に応じて関係者と協議を図りながら、令和7年度実施に向け、制度設計や規則等の制定などの事務を向け執り進める									

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	7	基本施策	2 将来世代への投資	公約事業	子ども議会の開催	担当部署	◎広報情報推進課
内容	子どもや若者が参画する（仮称）若者会議を設置し、若者自らが議論し実践できる場をつくる。					関連事務事業	美唄シティプロモーション推進事業
重要業績 成果指標 KPI	（仮称）若者会議からの事業提案					現状値 （指標設定時）	0回
年度		2023年度（R5）		2024年度（R6）		2025年度（R7）	
目標値		0回		1回		1回	
実績値		0回					
実施内容 [凡例] 計画 	①先進事例調査						
	②若者会議の制度設計						
	②若者会議の開催・運営						
進捗管理							
進捗状況	計画よりも遅れている	進捗状況に関する理由・補足等		「美唄まちづくり部」として子どもがまちづくりに参画する仕組みは発足させたが、「（仮称）若者会議」自体の制度設計については、令和6年度中に引き続き検討が必要となる。			
これまでの取組		令和5年度中においては、美唄中学校と連携し、中学生による模擬議会体験の取組を実施した。 令和6年度に入ってから、美唄シティプロモーション推進事業の取組として、6月に、子ども参画のまちづくりの先進自治体である宮崎県都農町への視察を実施するとともに、7月には、子どもたちが主役となり、地域の大人たちと力を合わせてまちを盛り上げる活動を行う「美唄まちづくり部」を立ち上げ、活動を開始したところ。また、尚栄高校において実施している「探究学習」への助言役として、各分野の地域おこし協力隊に取組への参画の調整も行い、子ども・若者のまちづくりへの関わりづくりを進めている。					
現状の課題		「美唄まちづくり部」については、実践に重きを置いており、子どもたちが取り組みやすいところから活動を進めるものとして、スモールスタートの形をとっており、一定規模の予算を配分して子どもたちが予算の使い道を議論して決める、といった仕組みには至っておらず、制度設計については引き続き検討が必要。 また、「美唄まちづくり部」の部員は今のところ有志の小学生のみとなっており、市内の小・中・高の各校の代表者が集まったの合議体といったものにもなっていない。各校から代表を選出し参画してもらう仕組みとするには、今後、学校との調整も必要となる。					
今後の取組(予定)		「美唄まちづくり部」について着実に取組を進めることを最優先とし、「（仮称）若者会議」のあり方や「美唄まちづくり部」との関連について、引き続き検討し、必要に応じて市内の学校との調整を図る。					

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	8	基本施策	3 高齢者の生活を守る		公約事業	交通手段の確保と利便性の向上		担当部署	市民部生活環境課			
内容		市街地の効率的な公共交通体系の実現を図るため、AIデマンドシステムの導入を検討することでし、利便性の向上を目指す。						関連事務事業	地域公共交通活性化・再生総合事業			
重要業績 成果指標 KPI		—						現状値 (指標設定時)	—			
年度			2023年度 (R5)		2024年度 (R6)		2025年度 (R7)		2026年度 (R8)		2027年度 (R9)	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値												
実施内容 [凡例] 計画 	①AIデマンド制度設計											
	②地域説明会・実証運行											
	③実証運行の検証											
	④AIデマンド本格運行											
進捗管理												
進捗状況	計画通りに進んでいる		進捗状況に関する理由・補足等									
これまでの取組			令和4年12月に策定した美唄市地域公共交通計画に基づき、A I デマンドバスを検証するために美唄市地域公共交通活性化協議会において検討した。 現在、令和6年度 美唄市AIデマンドバス短期実証調査業務を遂行するため、公募型プロポーザルを実施し、参加希望者を募集中。									
現状の課題			人口減少や少子高齢化に伴う通勤・通学における公共交通利用者の減少や、運転手不足、財政のひっ迫状況から、市内の公共交通をこのまま維持することが困難になってきており、これまで以上に利便性が高く効率的な公共交通体系の充実が必要である。今回のAIデマンドバス短期実証調査業務の結果によっては第二期短期実証調査業務（再調査）が必要になる可能性が残っている。									
今後の取組(予定)			今後は事業参加希望者より、企画提案書の提出及びプレゼンテーション及びヒアリングを行い、事業者を選定しAIデマンドバス短期実証調査を実施、その結果を検討後、AIデマンドバスの本格運行へとつなげていく。									

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	9	基本施策	3 高齢者の生活を守る		公約事業	間口除雪の要件緩和		担当部署	地域包括ケア推進課			
内容		高齢者宅間口除雪支援における要件緩和により負担低減に向けて、要件緩和の可能性や実施方法を検討する。						関連事務事業	間口除雪事業			
重要業績 成果指標 KPI		—						現状値 (指標設定時)	—			
年度			2023年度（R5）		2024年度（R6）		2025年度（R7）		2026年度（R8）		2027年度（R9）	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値												
実施内容 〔凡例〕 計画 	①要件緩和の検討											
	②実施方法の検討											
進捗管理												
進捗状況	計画通りに進んでいる		進捗状況に関する理由・補足等		必要と思われることを確実にやっている。							
これまでの取組			・ 現在、間口除雪の対象路線となっていない「歩道路線」の実施可否について、美唄市建設業協会、都市整備部から専門的な助言を受けた。 ・ 集落支援員による令和5年度美唄市除雪実態調査から、市民ニーズを把握した。 ・ 岩見沢市の間口除雪の状況について、視察を行った。									
現状の課題			・ 歩道路線の除雪について、市民間の不公平感がない内容で、事業者数が減っている中でも持続可能な方法を検討しているところである。 ・ 岩見沢市を視察し、実施状況を伺ったが、さらに情報を収集していく必要がある。									
今後の取組(予定)			・ 令和6年8月7日の空知管内都市副市長会議の中で、他市の「玄関の間口の除雪の状況」について伺い、より良い方法を検討していく。 ・ これらを参考に、最終的な案を作成する。									

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	10	基本施策	3 高齢者の生活を守る		公約事業	医療福祉の環境・体制整備		担当部署	地域包括ケア推進課			
内容		医療福祉の環境・体制整備により安心して歳を重ねられるまちにします						関連事務事業	在宅医療介護連携推進事業			
重要業績 成果指標 KPI		人手不足に対する新しい対応方法を実践できる事業所						現状値 (指標設定時)	0 か所			
年度			2023年度 (R5)		2024年度 (R6)		2025年度 (R7)		2026年度 (R8)		2027年度 (R9)	
目標値			—		—		1		2		3	
実績値												
実施内容 [凡例] 計画 	①人手不足の介護事業所の 状況調査※1											
	②人手不足への新しい対応 方法を検討※2											
	③新しい対応方法の実践											
	④評価・検証											
進捗管理												
進捗状況		計画通りに進んでいる		進捗状況に関する理由・補足等		必要と思われることを着実にやっている。						
これまでの取組			①第9期介護保険事業計画の介護保健サービス事業者アンケート調査結果から、「法令上の人員を満たしておらず、事業の定員を減らしている事業所」は7.2%であり、人手不足の介護事業所は、想定していたよりも少ない状況。 ②身近な地域で介護従事者の募集を周知するための工夫を検討中。									
現状の課題			・新たな介護従事者を探すだけでなく、現在働いている人が、業務を継続したいと思える環境の整備が必要。 ・若い世代、高齢者等、様々な世代の方が介護の仕事に魅力を感じられるような働きかけが必要。									
今後の取組(予定)			・ 尚栄高校での認知症サポーター養成講座の継続（市内の介護従事者等の多職種と学生の交流） ・ 外国人介護者等認知症対応力向上研修の実施（市内で介護に従事する外国人の皆さんが、介護職を続けたいと思う気持ちの醸成） ・ 道の「介護のしごと魅力アップ推進事業」を市内で開催									

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	11	基本施策	4 安心・安全・健康に暮らせる環境づくり		公約事業	市立美唄病院の機能の再検討		担当部署	市立美唄病院事務局			
内容		市民の命を守るため、高齢者医療、回復期医療に機能分化する方針を掲げる市立病院の機能を2024年度までに再検討します。						関連事務事業				
重要業績 成果指標 KPI		－						現状値 (指標設定時)	－			
年度			2023年度 (R5)		2024年度 (R6)		2025年度 (R7)		2026年度 (R8)		2027年度 (R9)	
目標値			－		－		－		－		－	
実績値												
実施内容 [凡例] 計画 	機能の再検討											
進捗管理												
進捗状況	計画通りに進んでいる		進捗状況に関する理由・補足等									
これまでの取組			2023.3～必要な医療提供体制体制を確保するため「市立美唄病院経営強化プラン」策定 2024.1～市立美唄病院経営強化プラン推進委員会開催し、経営強化プランの点検評価報告等について議論 2024.4～救急医療体制充実のため大阪医科薬科大学救急科より医師派遣を拡充 2024.7～総務省の地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業を活用し病院経営全般についてアドバイザーから助言									
現状の課題			市内唯一の救急告示病院としての医療提供体制									
今後の取組(予定)			引き続き、総務省の地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業を活用しアドバイザーから助言（年4回程度）をいただき、併せて市立美唄病院経営強化プラン推進委員会において協議を行っていく。									

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	12	基本施策	4 安心・安全・健康に暮らせる環境づくり	公約事業	急性期医療機能における岩見沢・砂川との連携強化		担当部署	市立美唄病院事務局、健康推進課			
内容		急性期医療機能における岩見沢市立総合病院・砂川市立病院との連携強化に向け、救急医療に関する情報交換会を行い、救急医療体制の継続・強化を図るため連携協定を締結する。					関連事務事業	救急医療啓発普及事業			
重要業績 成果指標 KPI		—					現状値 (指標設定時)	—			
年度		2023年度（R5）		2024年度（R6）		2025年度（R7）		2026年度（R8）		2027年度（R9）	
目標値		—		—		—		—		—	
実績値											
実施内容 [凡例] 計画 	①両病院との情報交換 (年1回)										
	②消防署、医師会等関係機 関との連携強化を目的とし た協議会(仮)の開催(年1回)										
	③両病院との連携協定の締 結										
進捗管理											
進捗状況	計画通りに進んでいる		進捗状況に関する理由・補足等		市立美唄病院において岩見沢市立総合病院・砂川市立病院との連携強化を図るとともに、岩見沢市、砂川市と本市においても救急医療に関する情報共有を行い関係構築に努めている。R6年度には砂川市立病院との連携協定の締結を行う見込みである。						
これまでの取組			市立美唄病院において日常的に岩見沢市立総合病院・砂川市立病院事務局と情報共有を行っている。 R6.6.18 美唄市医師会主催で救急医療意見交換会を開催し、毎年意見交換会を開催することを確認								
現状の課題			美唄市医師、道内医育大学及び大阪医科薬科大学に医師の派遣を依頼し、夜間・休日の救急医療体制を確保している。今後持続可能な救急医療提供体制の確保に向け、岩見沢市立総合病院・砂川市立病院と連携協定を締結する必要がある。								
今後の取組(予定)			砂川市立病院と連携協定締結を予定 救急医療意見交換会を継続								

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約番号	13-1	基本施策	4 安心・安全・健康に暮らせる環境づくり		公約事業	水道などのインフラ劣化へ計画的な対応		担当部署	上下水道課		
内容		老朽化が進む上下水道施設の管理更新を計画的に実施するため、施設の点検を強化し、その結果や経過年数・施設の重要度等により優先順位を決定してインフラ劣化へ計画的に対応します。					関連事務事業	水道事業 下水道事業			
重要業績 成果指標 KPI		—					現状値 (指標設定時)	—			
年度		2023年度 (R5)		2024年度 (R6)		2025年度 (R7)		2026年度 (R8)		2027年度 (R9)	
目標値		—		—		—		—		—	
実績値											
実施内容 [凡例] 計画 	上水道施設 改築更新										
	下水道施設 改築更新										
進捗管理											
進捗状況	計画よりも遅れている	進捗状況に関する理由・補足等		上水道施設は、国道12号拡幅工事に伴う移設工事を優先することにより、更新工事の予定が先送りになっている。 上水道施設ほどではないが、下水道施設は、交付金が要望額通りに内定されないことにより、更新工事の予定が先送りになっている。							
これまでの取組		・上水道施設 改築更新 上水道施設に関しては、現計画が令和6年度までのため、建設事業改良計画（R7～R16）の策定を行った。 国や道の工事における今後の計画を協議し、道路工事及び移設補償工事が円滑に行えるように努めた。 ・下水道施設 改築更新 汚水整備事業は、整備面積が85.3%に達して事業は終盤を迎えており、現在はストックマネジメント計画を中心に改築更新事業を行っている。									
現状の課題		今後さらに老朽施設が急増していくため、施設の維持管理や老朽化に伴う更新費用の増大により経営環境が厳しくなることが想定される。									
今後の取組(予定)		引き続き、国や道との協議を進めることにより円滑に移設工事を実施する。また、施設の点検結果を更新計画へ反映させる。									

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	13-2	基本施策	4 安心・安全・健康に暮らせる環境づくり	公約事業	道路などのインフラ劣化へ計画的な対応	担当部署	都市整備課
内容		道路などのインフラ劣化へ計画的に対応するため、路線箇所の優先順位付けの検討を行う。				関連事務事業	都市計画街路整備事業
重要業績 成果指標 KPI		—				現状値 (指標設定時)	—
年度		2023年度（R5）		2024年度（R6）		2025年度（R7）	
目標値		—		—		—	
実績値							
実施内容 [凡例] 計画 	生活道路の整備に係る 評価基準の検討						
進捗管理							
進捗状況	計画通りに進んでいる	進捗状況に関する理由・補足等					
これまでの取組		・生活道路における再整備の路線選定は維持管理費を削減する観点から融雪期の土のうの設置数が多い路線を最優先とし、地域要望や東西南北の地域バランスを考慮し決定している。					
現状の課題		・整備対象となる用途区域内における生活道路は329路線で延長が85kmある。 ・生活道路における再整備は凍上の影響によって被害を受けた道路であり、凍上の被害の発生や進行は路線によって異なり予測は困難である。 ・路線数の多さや凍上被害の進行状況が路線によって異なるため順位付けを行った場合、毎年見直しが必要となり事務が煩雑となる。					
今後の取組(予定)		・順位付けではない路線のランク付けが可能か検討する。					

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	14	基本施策	4 安心・安全・健康に暮らせる環境づくり	公約事業	美唄ブラックダイヤモンドズとの連携による市民が運動する設備の整備	担当部署	総務課・ 経済観光課・生涯学習課	
内容	パートナー協定を締結する美唄ブラックダイヤモンドズが管理する屋内運動施設を市民に解放してもらうことを協議検討する。					関連事務事業	公有財産管理事務 スポーツビジネス起業化支援事業	
重要業績 成果指標 KPI	—					現状値 (指標設定時)	—	
年度			2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）	2026年度（R8）		2027年度（R9）
目標値			—	—	—	—		—
実績値								
実施内容 〔凡例〕 計画 	①市民への施設解放							
	②連携事業の実施							
進捗管理								
進捗状況	計画通りに進んでいる		進捗状況に関する理由・補足等		美唄ブラックダイヤモンドズの活動などをとおして、屋内運動施設を開放する。			
これまでの取組			パートナー協定に基づき、スポーツの振興や子供の育成などを目的とした「野球少年団への指導」や「小学校児童との交流」、「地域住民との交流会」などの開催のほか、美唄ブラックダイヤモンドズが運営上支障のない範囲において、野球やサッカーなどに関わる地元の小中学生や高校生に対し、屋内運動施設を開放するなど、関係人口の創出と交流人口の拡大を図る、施設の多面的な活用に取り組んでいる。					
現状の課題			美唄ブラックダイヤモンドズの活動に支障のない範囲での限定的な施設解放であるほか、トレーニング機器整備の拡充の検討が必要である。					
今後の取組(予定)			美唄ブラックダイヤモンドズと緊密に連携し、相互による交流を図りながら、パートナー協定に基づき、引き続き屋内運動施設の開放を進めていく。					

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	15	基本施策	5 市民の暮らしとともにある観光		公約事業	アルテピアッツァ美唄の活用のあり方の再構築		担当部署	生涯学習課			
内容		多額の予算を投じている「アルテピアッツァ美唄」について、市としての活用におけるあり方を市民とともに再構築します（安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄ビジョンの見直し）。						関連事務事業	安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄管理運営事業 安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄整備事業			
重要業績 成果指標 KPI		—						現状値 （指標設定時）	—			
年度			2023年度（R5）		2024年度（R6）		2025年度（R7）		2026年度（R8）		2027年度（R9）	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値												
実施内容 [凡例] 計画 	①関係者等との協議・検討											
	②入場（入館）料可否の検討											
	③安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄ビジョンの見直し											
進捗管理												
進捗状況	計画通りに進んでいる		進捗状況に関する理由・補足等									
これまでの取組			NPO法人とのアルテビジョンの見直し、入館料徴収についての意見交換及び令和5年度の美唄市文化財保護委員会内での入館料徴収の必要性についての委員との意見交換を行った。									
現状の課題			入館料の徴収について、徴収する場合は本施設は様々な場所から敷地内に入ることができることから、敷地内に入った全ての人から徴収するのか、建物の中に入った人から徴収するのか等、どこでどのような形で入館料を徴収するか引き続き検討が必要									
今後の取組(予定)			・計画通り、引き続き関係者と施設の活用方法や入館料の徴収などについて協議・検討を行っていく。 ・令和7年度中のアルテビジョンの改訂に向け取り組む。									

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	16	基本施策	5 市民の暮らしとともにある観光	公約事業	美唄富良野線開通を見据えた観光拠点づくり	担当部署	経済観光課
内容	観光ビジョンに掲げる観光拠点施設の整備について、今後の市内外の交流人口・関係人口創出を促進させるため、市の魅力を最大限活用した観光拠点を市民等との協働により検討する。					関連事務事業	新規事業
重要業績 成果指標 KPI	－					現状値 (指標設定時)	－
年度		2023年度（R5）		2024年度（R6）		2025年度（R7）	
目標値		－		－		－	
実績値							
実施内容 [凡例] 計画 	観光拠点候補地の選定・アンケート調査等						
進捗管理							
進捗状況	計画通りに進んでいる	進捗状況に関する理由・補足等	R6.8.26開通に合わせ、進捗中				
これまでの取組		道道美唄富良野線未開通15.5 k mについて、工事を実施してきたところである。					
現状の課題		冬期間は安全面を見極めるため通行止め。緊急時の連絡が途絶えている区間である。					
今後の取組(予定)		R6.8～空知総合振興局が道道美唄富良野線開通に係る美唄と芦別市のPR動画制作を計画。 R7～道道美唄富良野線開通の周知、拡大等を見据え、イベント開催、動向調査を予定。 R9～スキー場整備の完成を目指し、スキー場の夏利用や周辺の環境整備も一体に検討。					

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	17	基本施策	6 農業・産業振興		公約事業	資材・肥料・燃油高騰に直面している農業への給付		担当部署	農政課			
内容		資材・肥料・燃油高騰に直面している農業への給付						関連事務事業	農業経営緊急支援事業			
重要業績 成果指標 KPI		－						現状値 (指標設定時)	－			
年度			2023年度（R5）		2024年度（R6）		2025年度（R7）		2026年度（R8）		2027年度（R9）	
目標値			－		－		－		－		－	
実績値												
実施内容 [凡例] 計画 	①支援内容の検討											
	②支援内容の審査・決定											
	③支援開始											
進捗管理												
進捗状況		進捗状況に関する理由・補足等										
これまでの取組			令和4年度 経営面積1ha当たり5,000円、施設園芸作物売上に応じた支援100-300万円15,000円、300-500万円25,000円、500-700万円50,000円、700-1,000万円75,000円、1,000万円以上100,000円 の支援 令和5年度は、令和4年度の単価の半額として支援									
現状の課題			資材・肥料・燃油高騰は継続している									
今後の取組(予定)			ありません									

市長公約事業のロードマップ° (2023-2027)

公約 番号	18	基本施策	6 農業・産業振興	公約事業	スマート農業の産官学連携による推進	担当部署	農政課
内容	効率化や後継者不足といった課題の打ち手として、「美唄の農業に適したスマート農業」を産官学連携のもと推進します。					関連事務事業	美唄スマート農業推進事業
重要業績 成果指標 KPI	スマート農業機械利用者普及率					現状値 (指標設定時)	31
年度		2023年度（R5）		2024年度（R6）		2025年度（R7）	
目標値		35		40		45	
実績値		38.56					
実施内容 [凡例] 計画 	①産学官連携方法の検討						
	②大学等との連携開始						
	③産学官連携事業の実施						
進捗管理							
進捗状況	計画通りに進んでいる	進捗状況に関する理由・補足等		連携内容の検討の窓口も野口教授本人であるほか、野口教授との連絡はメールのみとなっている。野口教授のメール返信も早いことから打合せなどに支障は特にない状況である。また、美唄市ICT農業推進協議会との連携内容の調整についても同時に進めている。			
これまでの取組		令和5年10月 桜井市長と北海道大学野口教授などと大学内で面談、令和6年2月 桜井市長と北海道大学野口教授などと大学内で2回目の面談 令和6年2月 美唄市ICT農業推進協議会が野口教授との面談とスマート農業施設視察、令和6年6月 野口教授が市役所で美唄市ICT農業推進協議会向けの講演 令和6年7月 野口教授へ連携協定内容案について打診					
現状の課題		本市に適合するスマート農業に関する協定内容の立案					
今後の取組(予定)		令和6年12月 市民会館大ホールで野口教授講演会及び 桜井市長、野口教授、農林水産省吉田剛技術普及課長によるスマート農業ディスカッション					

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	19	基本施策	6 農業・産業振興		公約事業	企業誘致による雇用の創出		担当部署	経済観光課			
内容		美唄市の周辺環境の変化（道道美唄・富良野線開通など）を踏まえ、企業を誘致し雇用を創出します。						関連事務事業				
重要業績 成果指標 KPI		誘致企業数						現状値 （指標設定時）	0件			
年度			2023年度（R5）		2024年度（R6）		2025年度（R7）		2026年度（R8）		2027年度（R9）	
目標値			－		2社		2社		2社		2社	
実績値												
実施内容 [凡例] 計画 ↔	①企業誘致分野の検討	↔										
	②地域活性化企業人の採用	↔										
	③企業誘致活動 （DM・訪問）	↔										
進捗管理												
進捗状況	計画通りに進んでいる		進捗状況に関する理由・補足等		美唄市産業振興条例に基づき企業誘致活動を行う							
これまでの取組			ホワイトデータセンター構想を活用した企業誘致へ発展させるため、 イベント出展による空知団地の周知・PRによる企業誘致活動を実施。									
現状の課題			空知団地の企業立地の相談は、再エネ関連が多い状況から、専門的な知見による情報入手や関係者との連携など、丁寧に対応することが求められている。									
今後の取組(予定)			R6空知団地企業誘致推進会議にて半導体関連産業に対するアンケート調査及びPR活動を実施（実施中）し、企業誘致先を広げ、企業訪問を積極的に行う。									

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	20	基本施策	6 農業・産業振興		公約事業	ふるさと納税の倍増		担当部署	参事（農商工連携担当）		
内容		リピート率向上施策と体験型商品の開発により「ふるさと納税」を倍増（4年後：40億円）します。						関連事務事業	特産品情報発信促進事業		
重要業績 成果指標 KPI		ふるさと美唄応援寄附金額						現状値 （指標設定時）	17.2億円		
年度		2023年度（R5）		2024年度（R6）		2025年度（R7）		2026年度（R8）		2027年度（R9）	
目標値		20億円		25億円		30億円		40億円		40億円	
実績値		23.6億円									
実施内容 [凡例] 計画 	①返礼品の充実										
	②魅力ある地域づくりに 関する情報発信										
	③寄附金の使途の発信										
進捗管理											
進捗状況	計画よりも進んでいる		進捗状況に関する理由・補足等		本市のまちづくりの取組や農産物・特産品が外から高い評価をいただいた結果であり、また期待されているものと分析。						
これまでの取組			・ふるさと納税紹介サイトを増やす取組 ・ふるさと納税事務委託業者と連携し、新たな返礼品の開発やふるさと納税紹介サイトの商品掲載サポート、事業者の新規開拓などにより返礼品の充実に努めてきた。								
現状の課題			・ふるさと納税返礼品の掘り起こしや種類を増やすこと ・新規の寄附者の獲得、リピーターの確保 ・いただいた寄附金の使途をわかりやすく情報発信を行う								
今後の取組(予定)			・課題をクリアするとともに、「ふるさと美唄応援制度」の活用やSNSでの情報発信などによる「美唄ファン」との絆を深める取組を進めることで、関係人口の創出、拡大を図り、将来的な移住・定住に繋げていく。								

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	21	基本施策	7 物価高騰対策		公約事業	市独自の直接給付（1万円）の実施		担当部署	特別定額給付金推進室			
内容		物価高騰による影響が市民全体に及んでいることを受け、迅速かつ的確に家計への支援を行うため、住民1人につき1万円の給付金を支給する。					関連事務事業		美唄市物価高騰対策臨時特別給付金事業			
重要業績 成果指標 KPI		—					現状値 （指標設定時）		—			
年度			2023年度（R5）		2024年度（R6）		2025年度（R7）		2026年度（R8）		2027年度（R9）	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値												
実施内容 [凡例] 計画	①支給内容・方法の検討											
	②特別定額給付金の支給											
進捗管理												
進捗状況	計画通りに進んでいる		進捗状況に関する理由・補足等		事業完了							
これまでの取組			・支給世帯数 対象世帯数 10,879世帯 支給世帯数 10,749世帯 支給率 98.8％ 未支給世帯数 130世帯 ・支給人数 対象者数 19,136人 支給人数 19,001人 支給率 99.3％ 未支給人数 135人 ・支給額 190,010千円 ・受給拒否数 8世帯 11人									
現状の課題			なし									
今後の取組(予定)			なし									

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	22	基本施策	7 物価高騰対策		公約事業	生活用品等の寄附窓口の設置と再配布の事業化		担当部署	市民部生活環境課			
内容		衣料品・生活用品等のリユース事業化を検討します						関連事務事業				
重要業績 成果指標 KPI		—						現状値 （指標設定時）	—			
年度			2023年度（R5）		2024年度（R6）		2025年度（R7）		2026年度（R8）		2027年度（R9）	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値												
実施内容 [凡例] 計画 	①「無償であげます・ください」 美唄アプリ掲載検討											
	②「ジモティー」等の掲示板サイトへの掲載検討											
	③リユース拠点の設置検討（人員増 or 業務委託）											
進捗管理												
進捗状況	計画通りに進んでいる		進捗状況に関する理由・補足等									
これまでの取組			令和6年2月14日、美唄市と株式会社ジモティーは、「美唄市と株式会社ジモティーとのリユース活動の促進に向けた連携と協力に関する協定」を締結。両者の連携により、市内のリユース活動を促進、環境負荷の少ない循環型社会の創造に寄与している。 古着のリユースイベント実証事業をR5年度において12月と2月の2回、6年度において6月に1回開催している。									
現状の課題			当課の業務が多忙なため毎月の開催が難しい（人員の確保が必要）。 環境系の車庫で古着を保管しているが、ネズミに衣類を齧られたり、湿気が多いためにカビが生えやすい環境であるため衣類保存用のケースなどの管理に必要な消耗品が不足していることやイベント開催に係るハンガーラックや机等の備品についてもコアびばいのご厚意で借用している状況、今後も借用できるか不透明であり、本来であれば市が用意しなければならないものの、R6予算の査定のゼロ予算では、資金的に継続が困難である。									
今後の取組(予定)			コアビバイ内でも人の行き来が多い、中心部にブースを設けることで、より多くの方に古着のリユースイベントに来場いただき、古着を活用してのリユース啓発をすることができた。継続開催を希望する声も多く、市民ニーズがあることが確認できた。今後は、来場者の多くが高齢者であったことからターゲット層を変えながら、更なるジモティーの普及促進や古着の取扱増に向け、リユースに興味を持っていただける企画を検討する。									

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	23	基本施策	8 市政の透明性の向上/職員が活躍する市役所へ	公約事業	政策形成や意思決定の過程の見える化		担当部署	企画財政課		
内容		経営会議の公表と、総合計画の進捗状況を市民に分かりやすく見せるための工夫を行う。					関連事務事業	第7期総合計画進行管理事務		
重要業績 成果指標 KPI		—					現状値 (指標設定時)	—		
年度			2023年度（R5）		2024年度（R6）		2025年度（R7）		2026年度（R8）	2027年度（R9）
目標値			—		—		—		—	
実績値										
実施内容 〔凡例〕 計画 	①経営会議の公表									
	②施策評価の記載方法の見直し（R6～）									
進捗管理										
進捗状況	計画通りに進んでいる		進捗状況に関する理由・補足等							
これまでの取組			①経営会議の公表については、経営会議に付する案件を整理するとともに、ホームページに開催結果を掲載している。 ②施策評価の記載方法の見直しについては、他自治体の事例などを調査研究を進めている。							
現状の課題			①特になし ②施策評価をはじめ、様々な評価様式（事前評価表、事後評価表、市長ヒアリング資料、事務事業インデックス）があり成果指標などの整合性が図れていない。							
今後の取組(予定)			①特になし ②様々な評価様式の成果指標の整合性を図ることができるように様式を作成する。							

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	24	基本施策	8 市政の透明性の向上/職員が活躍する市役所へ	公約事業	予算が大きく優先度が低い事業の見直し		担当部署	企画財政課			
内容		予算が大きく優先度が低い事業の実施内容・時期を見直します。					関連事務事業	備考欄に記載			
重要業績 成果指標 KPI		—					現状値 (指標設定時)	—			
年度		2023年度（R5）		2024年度（R6）		2025年度（R7）		2026年度（R8）		2027年度（R9）	
目標値		—		—		—		—		—	
実績値											
実施内容 [凡例] 計画	①既存事業の見直し										
	②各年度当初予算査定										
進捗管理											
進捗状況	計画通りに進んでいる		進捗状況に関する理由・補足等								
これまでの取組			毎年度の予算の中で、国の地方財政計画を見極めながら、市民ニーズの把握及び課題解決に向け事業の見直しを行っている。								
現状の課題			昨今の物価高騰のほか、扶助費など社会保障関係費や公共施設やインフラの老朽化対策などの支出増が見込まれている。								
今後の取組(予定)			人口減少や少子高齢化の進展に伴う財政規模の縮小を見据え、持続可能な財政基盤の確立に向けて、引き続き「事務事業の質的な転換」を図っていく。								

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	26	基本施策	8 市政の透明性の向上/職員が活躍する市役所へ	公約事業	緊急事態で機動力を発揮する市役所・職員の体制構築		担当部署	危機管理対策室				
内容		緊急事態で機動力を発揮する市役所・職員の体制を構築します。					関連事務事業	地域防災事業				
重要業績 成果指標 KPI		①システム登録者数 ②職員研修の開催					現状値 (指標設定時)	①登録率0％ ②年0回				
年度			2023年度		2024年度		2025年度		2026年度		2027年度	
目標値			①登録率100％ ②年1回		①登録率100％ ②年1回		①登録率100％ ②年1回		①登録率100％ ②年1回		①登録率100％ ②年1回	
実績値												
実施内容 [凡例] 計画 	①美唄市防災情報一斉配信 システムの職員登録											
	②災害時における対応に係 る職員研修の開催											
進捗管理												
進捗状況	取り組めていない		進捗状況に関する理由・補足等		人員不足							
これまでの取組			①災害時の職員参集については、主に第2非常配備体制時に参集することとなる管理職のJ-アラート登録を実施 住民向けの防災情報配信システムとは別に、災害時職員参集用のシステムの導入を検討 ②新採用職員向けや総合防災訓練時に防災講話等を実施									
現状の課題			①人事異動により対象外となった場合には、登録を削除している。また、登録に非協力的な職員もあり、災害時の主担当でなければ、災害対応の意識が希薄していることが憂慮される。 ②幸いにも本市は、災害対策本部設置等の機会が少ないことから、逆に災害時の経験がない職員が多い。そのため、災害への意識が希薄していることが憂慮される。また、災害時対応力の練度 向上を図るための研修が必要と思慮するが、訓練企画等のノウハウがない。									
今後の取組(予定)			①職員の登録について庁内通知を行う。 ②全職員向けの研修を複数回に分けて実施。（研修内容は同じとする）									